

(1) 山 [繭カ]

(110) × (18) × 4 081

(2) [大カ]

(108) × (16) × 4 081

両者とも折損が著しく、文字はほとんど判読できない。(1)では、一字目が「山」と読めるほかは、二字目が「繭」の可能性がある程度である。(2)の方は、右側の約三分の一程度が割れているようで、文字の判読はできなかった。ともに、裏面には文字はないが、(2)の裏面は削られているようである。

なお、釈文の確定などにあたっては、(財)向日市埋蔵文化財センター山中章氏、向日市教育委員会清水みき氏のご助力をいただいた。

9 関係文献

戸原和人「長岡京跡左京南一条三坊十三町の宅地」(『京都府埋蔵文化財情報』第五八号 一九九五年)

小池 寛「長岡京跡左京第三五三次」(『京都府埋蔵文化財情報』第五七号 一九九五年)

(一) 岸岡貴英・土橋 誠
(二) 小池 寛・土橋 誠

木簡研究 第一五号

巻頭言

早川 庄八

一九九二年出土の木簡

概要 平城京跡 平城京左京三条三坊三坪 平城京右京三条二坊三坪 藤原宮跡 藤原京右京五条四坊 丹切遺跡 長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 中海道遺跡 勝龍寺遺跡 平安京跡・旧二条城跡 鳥羽離宮跡 大坂城跡 大坂城下町跡 喜連東遺跡 平野環濠都市遺跡 植附遺跡 袴狭遺跡(内田地区) 鴨田遺跡 六六B遺跡 安養寺跡 宮の西遺跡 赤堀城跡 梶子遺跡 城之内遺跡 二本柳遺跡 二之宮宮東遺跡 安養寺森西遺跡 世良田諏訪下遺跡 小茶円遺跡 番匠地遺跡 瑞巖寺境内遺跡 八幡林遺跡 綾ノ前遺跡 馬場天神腰遺跡 乾遺跡 宮永ほじ川遺跡 北高木遺跡 山崎遺跡 中島田遺跡 久米窪田森元遺跡 観世音寺跡(南門跡) 脇道遺跡 城原三本谷南遺跡 妻北小学校敷地内遺跡

一九七七年以前出土の木簡(一五)

一 乗谷朝倉氏遺跡(第九次) 長岡宮跡(宮第三一・三三三) 草戸千軒町遺跡(第五・六・八次)

国・郡の行政と木簡

―「国府跡」出土木簡の検討を中心として

京都府相楽郡木津町鹿背山郷蔵の俵上札

加藤 友康
田中淳一郎

葉報

頒価 四五〇〇円 送料五〇〇円